

三十四年度総会決議事項

一、三十四年度総会の決議として、従来年四冊発行の建て前から合輯を重ねて来ましたが、今後これを改め、頁数は会費のゆるす限り、これまでの程度を維持しながら、合輯の形をとらぬようにしたい、と決定されました。従って本号以後右の方針で編輯いたしますので、御諒承下さい。

二、原稿は出来るだけたくさんの顔ぶれに、という原則も再確認されました。進んで御投稿お願いいたします。原稿用紙四〇〇字詰使用。句読点等明瞭に。出来るだけ当用漢字、新仮名づかい。

三、図版代・抜刷代は執筆者負担の原則です。抜刷御用の方は、あらかじめ部数を御連絡下さい。図版は墨で製図されていないと、製図代までかかります。

四、会費納入を促進すること。

未納の方が多く、雑誌発行に支障を来たし、困っています。未納の方は至急御送附下さい。

会員の逝去

七六

伊東 東氏 本会大野郡地方委員で、多年地方史研究に真しな努力を続け、多くの業績を残された伊東東氏は、昨年十二月十三日逝去されました。本会からも、弔電をもって哀悼の意を表わし、氏の冥福を祈りました。

古本 春蔵氏 本会顧問古本春蔵氏も、病氣療養中のところ、本年一月日十六逝去されました。同じく弔電をもって哀悼の意を表わし、冥福を祈りました。

雑報

「大分県の歴史と文化」毎日新聞大分版に大分・別府の会員を中心として、わかりやすい大分県の歴史を連載しています。百回以上におよび、数冊にまとめて出版する計画です。会員各位の御支援をたまりたく、感想や新史料・御気づきの点、是非と上げられたい点、等を御連絡下さるようお願いいたします。これにつき、写真撮影や実地調査等で種々御指導を仰ぎたい点多々ありますので、その節はよろしくお願いいたします。